



# 「あきたのそこちから」に学ぶ

## 『学習指導要領解説』を活用する！

柴田先生のレポートの中に、「国語科の指導案検討を実施した。こちら（城南小学校）では、**指導案検討には、全員が『学習指導要領解説』を持参する。**」という文章がありました。

本号では、校内研修での『学習指導要領解説』の活用例を紹介します。

### 城南小学校における『学習指導要領解説』の活用状況

- ★城南小学校の先生方は、全員が全教科の『解説』を持っている。
- ★校内研修で学習指導案の検討を行う時は、研修担当の先生が声をかけなくても全員『解説』を持参する。
- ★『解説』の該当のページを開いて、学習指導案の検討を行う。教科書や指導書だけでなく、『解説』の言葉を基に、学習指導案の作成を行っている。



### 校内研修での『学習指導要領解説』の活用例

小学校  
学習指導要領解説

○**根拠をもとにしながら、共通の言葉で話し合いができ、その単元や本時で付けたい力を確認しながら学習指導案の検討を行うことができる。**

#### 小学校 3・4学年 国語 「説明的な文章」

この単元では、児童にどんな力を付けることが、求められているのかな。



説明文の中の筆者が挙げている事例を、読み取る学習活動を進めたらどうだろう。

『解説』によると、小学校3・4学年の説明的な文章では「**段落相互の関係に注目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること**」が、求められているね。

事例に書かれている内容を、読み取って理解させるだけでなく、**筆者の考えと事例の関係**を、児童につかませたいね。



#### 小学校 2学年 算数 「分数」

本時は、「 $1/2$ (2分の1)」という表し方とその意味を理解することがねらいです。



もとの大きさを、二つに等分した大きさの一つ分という意味をしっかりと押さえたいね。

『解説』によると、「**具体的な活動を通して、乗法及び除法の見方の素地となるように指導する**」と、書いてあるよ。



「…を二つに分けた一つ分の大きさ」という見方だけでなく、元の大きさの $1/2$ から元の大きさを見ると、「…の2倍の大きさ」という見方もできることを、教える側が意識しながら学習を進めたいね。

### あきたのそこちから

城南小学校の研究主任の先生のお話によると、「他校においても同じ状況である。」「秋田県には**学習指導案の作成で迷った際は、『解説』に戻る文化がある。**」とのことでした。

このように、**普段から『学習指導要領解説』を活用する習慣や風土**が、秋田県における学力向上の基盤となっているポイントの一つです。